

総合診療科専門研修プログラム (静岡徳洲会病院)

1 はじめに

各診療科の専門家と協力しつつ疾患の治療、予防から介護の問題まで患者さんの抱える様々な健康問題を扱う総合診療科は地域の要たる診療科です。総合診療科の扱う健康問題は医師だけで解決できない多くの要素が絡んでおり、地域の医療資源を利用しつつ他職種の協力を得ながら患者さんとともに地域で歩いていく事になり、それこそが総合診療科の専門性と考えます。

静岡徳洲会病院はこの地域の貢献するために存在しています。そして当院の総合診療科はこの地域の健康に貢献するかかりつけとしての総合診療科医師の育成を目指しています。



プログラム統括責任者 静岡徳洲会病院 院長 山之上 弘樹

2 目的

理念

○ケアミックス型の静岡徳洲会病院を基幹病院とし、静岡市にある連携施設さらには浜松市天竜区や鹿児島県奄美大島での離島・僻地での研修を通じて総合診療医としての実践的な力を身に付けることで、主に都市部の医療に貢献できる総合診療医の養成を目指します。

○初期研修を修了した総合診療専門医は、本プログラム専門研修施設群での3年間に各施設の臨床経験豊富な指導医のもと、総合診療に求められる予防医学から看取りまでの幅広い医療技術、知識、さらには地域の医療資源を活用した地域との連携についても学び、都市部において必要とされるシームレスな医療を地域に提供できる能力を習得します。

使命

- 医療を通じて地域に貢献できる総合診療専門医を育成します。
- 様々な職種と連携して患者さんにとっての最善の医療の提供を目指します。
- 都市部における総合診療担当医の地位の確立を目指します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡徳洲会病院（静岡県静岡市駿河区）

(2) 専門研修連携施設

静岡済生会総合病院（静岡県静岡市駿河区）

佐久間病院（静岡県浜松市天竜区）

笠利病院（鹿児島県奄美市）

4 専攻医受入数

2名

5 研修期間

2年

6 研修計画（例）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----|---------|----|----|----|----|----|-----------|-----|-----|-----|----|----|
| 1年目 | 施設名 | 静岡徳洲会病院 | | | | | | | | | | | |
| | 領域 | 内科 | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 施設名 | 静岡徳洲会病院 | | | | | | 静岡済生会総合病院 | | | | | |
| | 領域 | 総合診療Ⅱ | | | | | | 小児科 | | | 救急科 | | |
| 3年目 | 施設名 | 笠利病院 | | | | | | 佐久間病院 | | | | | |
| | 領域 | 総合診療Ⅰ | | | | | | 総合診療Ⅰ | | | | | |

静岡徳洲会病院総合診療専門研修プログラムは、静岡徳洲会病院を基幹病院とし地域の連携病院及び徳洲会グループの離島病院と施設群を構成しています。専攻医はこれらの施設をローテートすることで総合診療専門医に求められる様々な知識、経験を積むことが可能となります。ローテート研修は以下の構成となります。

○総合診療専門研修については静岡徳洲会病院で総合診療専門研修Ⅱを6カ月、笠利病院と佐久間病院において総合診療専門研修Ⅰを6カ月ずつの合計18カ月の研修を行います。

○必須領域別研修として静岡徳洲会病院で内科12カ月、小児科、救急科を静岡済生会総合病院で3ヶ月ずつ研修を行います。

○静岡徳洲会病院での総合診療Ⅰの期間中は、同院の耳鼻科、皮膚科、整形外科、婦人科と連携し各研修を行うことが可能です。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医を中心に考え、個々の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、プログラム責任者が決定します。

7 問い合わせ先

静岡徳洲会病院

研修事務局 鷺巣 電話：054-256-8008(代)

kenshu-shizuoka@tokushukai.jp Twitter @shizutokusoshin